

TOEIC® SWテストをどのように活用されているのか、受験者の方にお話を聞いてみました。



## TOEIC® SWテストを受けて 自分の克服すべき課題が 明らかに。

高校時代から漠然と英語の教員になりたいと思っていました。専修大学入学後にゼミの恩師でもある田邊先生の通訳入門という授業を履修したことで、教員になる決意が固まり、現在は教職大学院で教育学を学んでいます。

TOEIC SWテストを受験したのは先生にすすめられたからですが、それまでスピーキングとライティングをスコアとして測ってみるという経験がなかったので、どういう評価が得られるのか非常に興味がありました。

受験した結果、自分がいろいろな表現を知っていても、それが実際に使えるとは限らないことをスピーキングテストで痛感しましたし、論理的な文章を構成するための力が足りないこともライティングテストでわかりました。今後は、TOEIC SWテストで明確になった自分の課題を克服し、英語教員として恥ずかしくないスキルを身に付けていきたいと思います。



**S:140 W:170**

【TOEIC® SWテストスコア】

スピーキング：140点 (Proficiency Level 6)

- Pronunciation : HIGH  
「英文を音読する際、発音はとてもわかりやすい。」
- Intonation and Stress : MEDIUM  
「英文を音読する際、イントネーションとアクセントがほとんどの場合効果的である。」

ライティング：170点 (Proficiency Level 8)

PERSONAL SCORE

**今井佳奈子**

東京学芸大学教職大学院  
教育実践創成専攻 1年

【TOEIC®スコア】 870点